

県道岡山総社自転車道線（櫛津自転車道橋）ほか補修調査設計業務委託 現場説明書追加事項

1. 準備・設計計画

既存資料の収集・整理、現地踏査を行い、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成する。

- (1) 現地踏査
- (2) 設計計画
- (3) 関係機関協議
- (4) 設計協議

2. 補修調査・設計

(1) 損傷箇所の確認調査

補修設計に先立ち、横断歩道橋各部の形状寸法損傷状況を確認するとともに必要となる調査を実施する。

1) 外観変状調査

損傷箇所を確認するほか、目視調査を行い、場合によりハンマーによる打音検査を行うなど、全体の損傷状況や損傷要因を把握する。

2) 寸法調査

補修設計に必要な形状について既存図書で不明な箇所の形状寸法を測定する。詳細図が作成できる範囲で調査を行う。

3) 損傷図作成

現地調査結果をもとに、損傷図の作成を行う。

(2) 再塗装設計、鋼部材補修設計、橋面補修設計、付属物補修設計

1) 対策工法の検討（塗装仕様書等の選定^{※再塗装設計の場合}）

損傷に対して、損傷種類や損傷要因別に要因除去を含めた補修対策工法を検討する。工法選定にあたっては、構造特性、施工方法、経済性、維持管理性等総合的な観点から技術的特徴、課題を整理し、評価を加えて選定を行う。

2) 数量計算及び設計図作成

最適な補修設計に対して、数量算出要領に基づき各工種ごとに数量計算を行う。また、工事発注用の図面作成を行う。

3) 概算工事費

算出した数量をもとに概算工事費を算出する。

4) 施工計画

補修工事を行うにあたって、必要となる施工計画を作成する。施工計画は、計画工程表、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入計画、仮設備計画、工事費積算にあたって必要な計画書を作成し、立地条件に即した適切な施工計画を立案する。

5) 照査及び報告書作成

設計内容について、適切性及び整合性に着目し照査を行う。また、業務の成果として、成果概要書等の取りまとめを行う。